

26 焼杉板

杉の板を焼き、木の木目を生かしながら絵や文字をかきます。
木のもつあたたかさや、手作りのよさを体感することができます。
やり遂げた達成感・充実感を味わうことができます。



【参考動画】

①準備と服装



②板の焼き方



③時短の裏技



④絵と仕上げ



時 期	通 年	所要時間	2時間～ 3時間	活動場所	かま場、室内
対 象	小学校4年生以上	人 数	150人まで		
準備物	自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	□ブラシ …事務室 □火バサミ …外倉庫 □顔料入りマーカー…事務室 □きり（千枚通し）…事務室 □ペンチ …事務室		□材料（施設で購入：400円【薪代を含む】） 杉板、ヒートン、ひも □マッチ □軍手（すべり止めのない綿100%素材のもの） □布（焼いた杉板を磨くため）		
活動の手順	事前準備	・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など ※板を焼く場面、きりを使う場面では、安全に行われるよう、引率者が付く。			
	制作の実際	【室外（かま場）での活動】 1 用具を準備する。 ・材料、ブラシ、火バサミ、顔料入りマーカー、きり、ペンチ 2 かま場で火をおこす。 3 火バサミで板を持ち、裏表を均一に焼く。 ・燃えている部分はコンクリートにたたきつけて火を消す。そのままにしておくとどんどん燃えて、板が小さくなっていく。 4 ブラシで木目に沿って丁寧にこすり、すずを落とす。 5 光沢が出るまで布でよく磨く。（木目が浮き出てくる） 6 かま場の後片付けをする ・用具を元の場所に戻す。かま場を掃除する。 【室内での活動】 7 杉板にヒートンを取り付ける。 ・ヒートンを取り付けるための穴を、きり（千枚通し）で少しあける。 ・ペンチを使ってヒートンを取り付ける。 8 杉板に絵や文字を書く。 9 ひもを付けて完成。 10 後片付けをする。 ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙は捨てる。 ・活動場所を掃除する。 			
備 考	1 材料は『食事等申込書』に必要事項を記入し、申し込んでください。 2 きりや火を扱いますので、ケガには十分注意しましょう。 3 用具等はていねいに扱い、確実に返却願います。 4 薪はすべて燃やし、灰は、灰置き場に捨ててください。				

